株式会社 レゾナック・ホールディングス

2026年8月6日発表

2026年12月期 第2四半期(中間期)決算要約 (IFRS)

1.当中間期の業績(1月～6月累計)

① 業績概要

(単位:億円)

項目	2025年 中間会計期間 (1月～6月)	2026年 中間会計期間 (1月～6月)	増減
売上収益	6,421	6,769	348
コア営業利益	346	888	542
営業利益	326	733	407
税引前中間利益	304	728	423
中間利益	199	490	291
親会社の所有者に帰属する中間利益	197	485	288
基本的1株あたり中間利益	108.71円	267.15円	158.44円

② セグメント別 売上収益・コア営業利益

(単位:億円)

〔ご参考 四半期推移〕

セグメント		2025年 中間会計期間 (1月～6月)	2026年 中間会計期間 (1月～6月)	増減	2026年 第1四半期 (1月～3月)	2026年 第2四半期 (4月～6月)
半導体・電子材料	売上収益	2,307	2,990	683	1,347	1,643
	コア営業利益	425	815	390	340	475
モビリティ	売上収益	897	846	△ 50	473	373
	コア営業利益	13	43	30	29	14
イノベーション材料	売上収益	449	500	51	227	273
	コア営業利益	49	63	14	24	39
ケミカル	売上収益	784	918	134	408	510
	コア営業利益	△ 82	△ 6	75	△ 16	10
クラサスケミカル	売上収益	1,499	1,301	△ 198	517	783
	コア営業利益	△ 8	38	46	△ 5	44
その他・調整額	売上収益	485	214	△ 271	106	108
	コア営業利益	△ 52	△ 65	△ 14	△ 36	△ 29
計	売上収益	6,421	6,769	348	3,079	3,690
	コア営業利益	346	888	542	336	551

③ 連結キャッシュ・フロー

(単位:億円)

項目	2025年 中間会計期間 (1月～6月)	2026年 中間会計期間 (1月～6月)	増減
営業キャッシュ・フロー	346	844	498
投資キャッシュ・フロー	△479	△570	△91
フリー・キャッシュ・フロー	△133	274	407
財務キャッシュ・フロー	△644	95	738
その他	△105	110	－
現金及び現金同等物の増減額	△881	479	－

④ 参考数値

(単位:億円)

項目	2025年 中間会計期間 (1月～6月)	2026年 中間会計期間 (1月～6月)	増減
設備投資額	647	581	△65
減価償却費及び償却費	475	458	△17
研究開発費	232	245	13
金融収支	△48	△41	7
為替レート(円/US $)	148.6	158.2	9.6円安
国産ナフサ価格(円/KL)	69,850	92,300	22,450

(単位:億円)

項目	2025年12月末	2026年6月末	増減
総資産	21,067	22,160	1,093
有利子負債残高	9,695	9,567	△129

株式会社 レゾナック・ホールディングス

2026年8月6日発表

2. 当期の予想

① 業績予想概要

（単位:億円）

項目	2025年 通期実績	2026年 通期予想	増減予想
売上収益	10,468	11,650	1,182
コア営業利益	1,044	1,960	916
営業利益	423	1,600	1,177
税引前当期利益	397	1,580	1,183
継続事業からの当期利益	270	1,100	830
非継続事業からの当期利益	41	40	△1
親会社の所有者に帰属する当期利益	290	1,125	835
基本的1株当たり当期利益	160.49円	606.32円	445.83円
1株当たり配当金	65.00円	65.00円	－

当社は2026年10月1日に実施予定のクラサスケミカル株式会社のパーシャル・スピンオフに伴い、クラサスケミカルセグメントを非継続事業として取り扱う予定です。
なお、連結業績予想には、連結除外に関する損益は含んでおりません。
上記の1株当たり配当金には、パーシャル・スピンオフに伴うクラサスケミカル株式会社の普通株式の現物配当は含めておりません。
また、2025年12月期について、クラサスケミカルセグメントを非継続事業に組替えて計算しております。

② セグメント別 売上収益・コア営業利益

（単位:億円）

セグメント		2025年 通期実績	2026年 通期予想	増減予想
半導体・電子材料	売上収益	5,063	6,680	1,617
	コア営業利益	1,084	1,950	866
モビリティ	売上収益	1,784	1,580	△ 204
	コア営業利益	44	50	6
イノベーション材料	売上収益	922	1,000	78
	コア営業利益	104	120	16
ケミカル	売上収益	1,744	1,960	216
	コア営業利益	△ 55	40	95
その他・調整額	売上収益	955	430	△ 525
	コア営業利益	△ 132	△ 200	△ 68
継続事業合計	売上収益	10,468	11,650	1,182
	コア営業利益	1,044	1,960	916

2025年12月期についても、遡及してクラサスケミカルセグメントを非継続事業に組替えて計算しております。

③ 参考数値

（単位:億円）

項目	2025年 通期実績	2026年 通期予想	増減予想
設備投資額	1,067	1,196	129
減価償却費及び償却費	884	889	5
研究開発費	449	489	40
金融収支	△98	△98	△0
期末有利子負債残高	9,695	7,980	△1,715
為替レート（円/US $）	149.7	154.1	4.4円安
国産ナフサ価格（円/KL）	67,150	79,150	12,000

設備投資額、減価償却費及び償却費、研究開発費は、継続事業の合計額を記載しております。
また、2025年12月期について、クラサスケミカルセグメントを非継続事業に組替えて計算しております。

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、世界的な政治情勢、経済情勢、規制の強化、製品の需要動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

2026年12月期　第２四半期（中間期）決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年８月６日

上場会社名	株式会社レゾナック・ホールディングス		上場取引所　東
コード番号	4004　　ＵＲＬ　https://www.resonac.com/jp		
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）高橋　秀仁	
問合せ先責任者	（役職名）資本戦略部長	（氏名）藤崎　一彦	https://www.resonac.com/jp/inquiry
半期報告書提出予定日	2026年８月７日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有 （証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

１．2026年12月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年１月１日～2026年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	676,852	5.4	88,753	156.5	73,310	124.8	49,040	146.2	48,451	146.5	64,830	―
2025年12月期中間期	642,054	△4.1	34,598	4.3	32,611	△34.4	19,920	△56.0	19,654	△56.6	△6,055	―

（参考）税引前中間利益　　2026年12月期中間期　72,754百万円（139.2%）　2025年12月期中間期　30,415百万円（△44.3%）

（注）　コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

	基本的１株当たり中間利益	希薄化後１株当たり中間利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	267.15	240.25
2025年12月期中間期	108.71	108.71

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	2,215,999	805,023	788,109	35.6
2025年12月期	2,106,723	727,613	698,852	33.2

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	65.00	65.00
2026年12月期	―	0.00			
2026年12月期（予想）			―	65.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、石油化学事業を営む完全子会社であるクラサスケミカル株式会社（以下、「クラサスケミカル」といいます。）のパーシャル・スピンオフ（以下、「本スピンオフ」といいます。）を2026年10月に実行することを予定しておりますが、上記の配当の状況には、本スピンオフによるクラサスケミカルの普通株式の現物配当は含めておりません。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,165,000	11.3	196,000	87.7	160,000	278.5	114,000	267.2	112,500	287.5	606.32

（参考）税引前当期利益　　通期 158,000百万円（298.2%）

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当社は2026年７月６日公表のとおり、2026年８月下旬開催予定の取締役会において、本スピンオフの実行について付議することとしております。2026年12月期の連結業績予想においては、本スピンオフが実行される前提で、クラサスケミカルセグメントを期初から非継続事業として扱っております。したがって、2026年12月期の連結業績予想の売上収益、コア営業利益、営業利益及び税引前当期利益について、非継続事業を除いた継続事業の金額を表示し、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は、継続事業及び非継続事業の合算を表示しております。なお、連結業績予想には、連結除外に関する損益は含んでおりません。また、増減率については、2025年12月期について、クラサスケミカルセグメントを非継続事業に組替えて計算しております。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）　、除外　－社　（社名）

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	191,019,801株	2025年12月期	184,901,292株
②　期末自己株式数	2026年12月期中間期	1,445,821株	2025年12月期	3,918,394株
③　期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	181,360,304株	2025年12月期中間期	180,796,120株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】５ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5
２．要約中間連結財務諸表及び主な注記 …… 6
（１）要約中間連結財政状態計算書 …… 6
（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）要約中間連結持分変動計算書 …… 10
（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 12
（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 13
（継続企業の前提に関する注記） …… 13
（セグメント情報） …… 13
（重要な後発事象） …… 15

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

１）当期の経営成績

当中間連結会計期間（2026年１月～６月）の世界経済は、引き続き中東情勢による影響が懸念されるなか、全体としては緩やかに回復しました。半導体業界については、AI等の先端用途を中心に着実な成長が見られました。国内経済は、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られ、全体として緩やかに回復しました。

当中間連結会計期間における売上収益は、モビリティセグメント、クラサスケミカルセグメントでは減収となりましたが、先端半導体用途を中心に好調が続く半導体・電子材料セグメントをはじめとして、イノベーション材料セグメント、ケミカルセグメントは増収となり、総じて増収となる6,768億52百万円となりました。コア営業利益は、全てのセグメントで増益となり887億53百万円となりました。営業利益は、退職給付制度の改定に伴う損失計上など非経常的な要因により発生した損失が増加したものの、コア営業利益の増加がこれを上回り、増益となる733億10百万円となりました。営業利益の増益等により、親会社の所有者に帰属する中間利益は484億51百万円となりました。

（単位：百万円）

	2025年 中間連結会計期間	2026年 中間連結会計期間	増減	増減率
売上収益	642,054	676,852	34,798	5.4%
コア営業利益	34,598	88,753	54,155	156.5%
営業利益	32,611	73,310	40,699	124.8%
親会社の所有者に帰属する中間利益	19,654	48,451	28,797	146.5%

（注）　コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（その他の収益、その他の費用及び減損損失（売上原価、販売費及び一般管理費に含まれます。））を除いて算出しております。

２）セグメント別概況（2026年１月～６月）

【半導体・電子材料セグメント】

当セグメントでは、半導体前工程材料はメモリ市況が回復基調にあり増収となりました。半導体後工程材料は、主にAI等の先端半導体向けの販売数量増加により増収となりました。デバイスソリューションは、HDメディアにおけるデータセンター向け需要が堅調に推移し、SiCエピタキシャルウェハーは一部顧客の需要増もあり、増収となりました。

この結果、当セグメントは前年同期比で増収増益となりました。

（単位：百万円）

	2025年 中間連結会計期間	2026年 中間連結会計期間	増減	増減率
売上収益	230,680	298,962	68,282	29.6%
コア営業利益	42,486	81,485	38,999	91.8%

【モビリティセグメント】

当セグメントでは、当４～６月期での自動車成形部材事業の譲渡影響があったものの、一部顧客による需要増により、前年同期比で減収増益となりました。

（単位：百万円）

	2025年 中間連結会計期間	2026年 中間連結会計期間	増減	増減率
売上収益	89,659	84,621	△5,038	△5.6%
コア営業利益	1,308	4,282	2,974	227.4%

【イノベーション材料セグメント】

当セグメントでは、製品ごとの濃淡はありながらも堅調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

（単位：百万円）

	2025年 中間連結会計期間	2026年 中間連結会計期間	増減	増減率
売上収益	44,922	49,999	5,077	11.3%
コア営業利益	4,946	6,304	1,358	27.5%

【ケミカルセグメント】

当セグメントでは、化学品は、一部製品の原価上昇を受けた価格改定等により増収増益となりました。グラファイトは、黒鉛電極の販売数量の回復により増収、加えて構造改革効果の顕現により赤字が縮小しました。

この結果、当セグメントでは前年同期比で増収・赤字縮小となりました。

（単位：百万円）

	2025年 中間連結会計期間	2026年 中間連結会計期間	増減	増減率
売上収益	78,428	91,789	13,361	17.0%
コア営業利益	△8,151	△612	7,539	―

【クラサスケミカルセグメント】

当セグメントでは、４年に一度の大型定期修繕の影響で減収となりましたが、ナフサ価格の上昇による在庫受払差のプラス影響で増益となりました。

（単位：百万円）

	2025年 中間連結会計期間	2026年 中間連結会計期間	増減	増減率
売上収益	149,884	130,057	△19,827	△13.2%
コア営業利益	△806	3,838	4,644	―

（２）当中間期の財政状態の概況

１）資産、負債及び資本の状況

当中間連結会計期間末の資産合計は、主に現金及び現金同等物や棚卸資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,092億76百万円増加の2兆2,159億99百万円となりました。負債合計は、有利子負債残高は減少したものの、仕入債務が増加したこと等により、前連結会計年度末比318億66百万円増加の1兆4,109億76百万円となりました。資本合計は、利益剰余金の増加に加え、転換社債型新株予約権付社債の転換に伴う資本金・資本剰余金の増加、自己株式の処分により、前連結会計年度末比774億10百万円増加の8,050億23百万円となりました。

（単位：百万円）

	前連結会計年度末	当中間連結会計期間末	増減
資産合計	2,106,723	2,215,999	109,276
負債合計	1,379,110	1,410,976	31,866
資本合計	727,613	805,023	77,410

２）キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、中間利益の増加等により、前年同期に比べ497億73百万円の収入増加となる844億3百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出の減少があったものの、前年同期は子会社等の売却による収入があったこと等の影響により、前年同期に比べ91億7百万円の支出増加となる569億93百万円の支出となりました。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは、前年同期に比べ406億66百万円の収入増加となる274億10百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加や、前年同期に社債の償還による支出があったこと等により、前年同期に比べ738億36百万円の収入増加となる94億77百万円の収入となりました。

この結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物は、為替変動の影響等も含め、前連結会計年度末に比べ650億96百万円増加となる3,270億67百万円となりました。

（単位：百万円）

	2025年 中間連結会計期間	2026年 中間連結会計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,630	84,403	49,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,886	△56,993	△9,107
フリー・キャッシュ・フロー	△13,256	27,410	40,666
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64,359	9,477	73,836
現金及び現金同等物の中間期末残高	207,970	327,067	119,097

（注）現金及び現金同等物の前連結会計年度末残高は261,971百万円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、本日（８月６日）連結業績予想の修正を公表しております。業績予想の前提等につきましては、８月６日発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（単位：百万円）

通期連結業績	売上収益	コア営業利益	営業利益	税引前当期利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
前回予想（２/13）	1,310,000	140,000	105,000	103,000	79,000	77,000
今回予想（８/６）	1,165,000	196,000	160,000	158,000	114,000	112,500
増減	△145,000	56,000	55,000	55,000	35,000	35,500
増減率	△11.1%	40.0%	52.4%	53.4%	44.3%	46.1%

２．要約中間連結財務諸表及び主な注記

（１）要約中間連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当中間連結会計期間 （2026年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	261,971	327,067
売上債権	280,230	301,061
棚卸資産	206,058	245,793
未収法人所得税	3,504	2,439
その他の金融資産	32,051	37,335
その他の流動資産	33,749	35,437
小計	817,563	949,132
売却目的で保有する資産	35,416	－
流動資産合計	852,979	949,132
非流動資産		
有形固定資産	662,921	686,730
無形資産	410,716	404,885
退職給付に係る資産	49,446	40,739
繰延税金資産	13,607	12,014
持分法で会計処理されている投資	71,543	76,671
その他の金融資産	22,237	21,447
その他の非流動資産	23,274	24,381
非流動資産合計	1,253,744	1,266,867
資産合計	2,106,723	2,215,999

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当中間連結会計期間 （2026年６月30日）
負債の部		
流動負債		
仕入債務	162,757	186,966
社債及び借入金	169,611	263,702
未払費用	41,507	41,315
未払法人所得税	8,693	28,152
リース負債	4,452	4,737
引当金	1,313	736
その他の金融負債	51,152	61,421
その他の流動負債	23,962	29,760
小計	463,447	616,789
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	9,589	－
流動負債合計	473,036	616,789
非流動負債		
社債及び借入金	777,010	671,154
退職給付に係る負債	7,296	7,509
引当金	4,427	4,436
リース負債	18,454	17,068
その他の金融負債	7,803	9,143
繰延税金負債	70,473	61,221
その他の非流動負債	20,611	23,656
非流動負債合計	906,074	794,187
負債合計	1,379,110	1,410,976
資本の部		
資本金	182,146	195,946
資本剰余金	108,681	124,742
自己株式	△12,409	△5,565
利益剰余金	343,574	380,933
その他の包括利益累計額	76,860	92,053
親会社の所有者に帰属する持分合計	698,852	788,109
非支配持分	28,761	16,914
資本合計	727,613	805,023
負債及び資本合計	2,106,723	2,215,999

（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

（要約中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年６月30日）
売上収益	642,054	676,852
売上原価	△490,553	△470,355
売上総利益	151,501	206,497
販売費及び一般管理費	△117,045	△118,564
その他の収益	10,049	4,395
その他の費用	△11,894	△19,018
営業利益	32,611	73,310
金融収益	2,500	2,430
金融費用	△10,282	△7,639
持分法による投資利益	5,586	4,653
税引前中間利益	30,415	72,754
法人所得税費用	△10,495	△23,714
中間利益	19,920	49,040
中間利益の帰属		
親会社の所有者	19,654	48,451
非支配持分	266	589
１株当たり中間利益		
基本的１株当たり中間利益（円）	108.71	267.15
希薄化後１株当たり中間利益（円）	108.71	240.25

（要約中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年６月30日）
中間利益	19,920	49,040
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIの金融資産の公正価値の純変動額	△1,208	485
確定給付制度の再測定	△15	△53
持分法によるその他の包括利益	87	4
合計	△1,136	436
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△23,812	14,830
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動額	268	△159
持分法によるその他の包括利益	△1,295	683
合計	△24,839	15,354
その他の包括利益合計	△25,975	15,790
中間包括利益	△6,055	64,830
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	△5,495	64,316
非支配持分	△560	514

（３）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間（自　2025年１月１日　至　2025年６月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	FVTOCIの金融資産	確定給付制度の再測定
当期首残高	182,146	108,863	△13,172	318,643	6,517	－
中間利益	－	－	－	19,654	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	△1,121	△15
中間包括利益合計	－	－	－	19,654	△1,121	△15
配当金	－	－	－	△11,787	－	－
自己株式の取得	－	－	△3	－	－	－
自己株式の処分	－	46	659	－	－	－
株式報酬取引	－	△192	－	－	－	－
非支配持分の取得	－	△200	－	－	－	－
子会社の支配喪失に伴う変動	－	－	－	－	－	－
転換社債型新株予約権付社債の転換	－	－	－	－	－	－
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	－	－	－	471	△486	15
所有者との取引額等合計	－	△346	656	△11,316	△486	15
当中間期末残高	182,146	108,517	△12,515	326,981	4,910	－

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益累計額					
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	合計			
当期首残高	61,848	△229	68,136	664,616	27,390	692,006
中間利益	－	－	－	19,654	266	19,920
その他の包括利益	△24,281	268	△25,149	△25,149	△826	△25,975
中間包括利益合計	△24,281	268	△25,149	△5,495	△560	△6,055
配当金	－	－	－	△11,787	△714	△12,501
自己株式の取得	－	－	－	△3	－	△3
自己株式の処分	－	－	－	705	－	705
株式報酬取引	－	－	－	△192	－	△192
非支配持分の取得	－	－	－	△200	－	△200
子会社の支配喪失に伴う変動	－	－	－	－	－	－
転換社債型新株予約権付社債の転換	－	－	－	－	－	－
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	－	－	△471	－	－	－
所有者との取引額等合計	－	－	△471	△11,477	△714	△12,191
当中間期末残高	37,567	39	42,516	647,645	26,116	673,761

当中間連結会計期間（自　2026年１月１日　至　2026年６月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	FVTOCIの金融資産	確定給付制度の再測定
当期首残高	182,146	108,681	△12,409	343,574	4,675	－
中間利益	－	－	－	48,451	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	489	△53
中間包括利益合計	－	－	－	48,451	489	△53
配当金	－	－	－	△11,764	－	－
自己株式の取得	－	－	△1,204	－	－	－
自己株式の処分	－	－	735	－	－	－
株式報酬取引	－	157	－	－	－	－
非支配持分の取得	－	－	－	－	－	－
子会社の支配喪失に伴う変動	－	－	－	－	－	－
転換社債型新株予約権付社債の転換	13,800	15,904	7,313	－	－	－
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	－	－	－	672	△725	53
所有者との取引額等合計	13,800	16,061	6,844	△11,092	△725	53
当中間期末残高	195,946	124,742	△5,565	380,933	4,439	－

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益累計額					
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	合計			
当期首残高	72,205	△20	76,860	698,852	28,761	727,613
中間利益	－	－	－	48,451	589	49,040
その他の包括利益	15,588	△159	15,865	15,865	△75	15,790
中間包括利益合計	15,588	△159	15,865	64,316	514	64,830
配当金	－	－	－	△11,764	△911	△12,675
自己株式の取得	－	－	－	△1,204	－	△1,204
自己株式の処分	－	－	－	735	－	735
株式報酬取引	－	－	－	157	－	157
非支配持分の取得	－	－	－	－	－	－
子会社の支配喪失に伴う変動	－	－	－	－	△11,450	△11,450
転換社債型新株予約権付社債の転換	－	－	－	37,017	－	37,017
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	－	－	△672	－	－	－
所有者との取引額等合計	－	－	△672	24,941	△12,361	12,580
当中間期末残高	87,793	△179	92,053	788,109	16,914	805,023

（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
中間利益	19,920	49,040
減価償却費及び償却費	47,475	45,761
法人所得税費用	10,495	23,714
減損損失（又は戻入れ）	142	820
受取利息及び受取配当金	△2,304	△2,314
支払利息	7,132	6,441
持分法による投資損益（△は益）	△5,586	△4,653
売上債権の増減額（△は増加）	22,698	△16,593
未収入金の増減額（△は増加）	2,964	3,114
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,898	△38,684
仕入債務の増減額（△は減少）	△13,824	22,798
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△469	8,859
その他	△37,101	△1,753
小計	48,644	96,550
利息の受取額	1,310	1,912
配当金の受取額	1,484	1,118
利息の支払額	△7,229	△5,928
法人所得税の支払額又は還付額（△は支払）	△9,579	△9,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,630	84,403
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△62,238	△52,416
有形固定資産の売却による収入	4,237	2,319
子会社等の売却による収入（△は支出）	13,691	△33
有価証券等の取得による支出	△56	△1,175
有価証券等の売却及び償還による収入	770	1,453
その他	△4,290	△7,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,886	△56,993
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	475	34,508
コマーシャル・ペーパーの純増減額（△は減少）	18,000	－
長期借入れによる収入	140,659	100
長期借入金の返済による支出	△148,910	△10,395
社債の償還による支出	△60,000	－
リース負債の返済による支出	△2,570	△2,311
自己株式の取得による支出	△3	△16
親会社の所有者への配当金の支払額	△11,750	△11,734
非支配持分株主への配当金の支払額	△740	△911
その他	480	236
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64,359	9,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,529	11,037
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△88,144	47,924
現金及び現金同等物の期首残高	294,656	261,971
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,458	17,172
現金及び現金同等物の中間期末残高	207,970	327,067

（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績評価のために定期的に検討を行う対象としているものであります。

当社は、主に事業部を基礎とした製品・商品別のセグメントから構成されており、製品の種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約し、「半導体・電子材料」、「モビリティ」、「イノベーション材料」、「ケミカル」、「クラサスケミカル」の５つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要製品・商品は、下表のとおりであります。

報告セグメント	サブセグメント	主要製品・商品等
半導体・電子材料	半導体前工程材料	電子材料用高純度ガス、半導体回路平坦化用研磨材料（CMPスラリー）
	半導体後工程材料	エポキシ封止材、ダイボンディング材料（DAF、NCF）、銅張積層板、感光性フィルム、感光性ソルダーレジスト、高熱伝導材料（TIM）
	デバイスソリューション	HDメディア、SiCエピタキシャルウェハー
モビリティ	－	樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品、アルミ機能部材
イノベーション材料	－	樹脂材料
		機能性化学品（合成樹脂エマルジョン、不飽和ポリエステル樹脂）
		コーティング材料
		セラミックス（アルミナ、研削研磨材、ファインセラミックス）
ケミカル	化学品	基礎化学品（液化アンモニア、アクリロニトリル、アミノ酸、苛性ソーダ、塩素、合成ゴム）
		産業ガス（液化炭酸ガス、ドライアイス、酸素、窒素、水素）
	グラファイト	黒鉛電極、カーボン負極材
クラサスケミカル（石油化学事業）	－	オレフィン
		有機化学品（酢酸ビニルモノマー、酢酸エチル、アリルアルコール）
		合成樹脂

(2) 報告セグメントの売上収益及び損益の金額の算定方法

事業セグメントの会計処理方法は、要約中間連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの損益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出したコア営業利益で表示しております。なお、非経常的な要因により発生した損益とは、その他の収益、その他の費用及び減損損失（売上原価、販売費及び一般管理費に含まれます。）であります。

セグメント間の売上収益は概ね市場実勢価格に基づいております。

(3) 報告セグメントの売上収益及び損益の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自　2025年１月１日　至　2025年６月30日）

（単位：百万円）

項目	報告セグメント						その他（注）１	調整額（注）２	合計
	半導体・電子材料	モビリティ	イノベーション材料	ケミカル	クラサスケミカル	計			
売上収益									
外部顧客への売上収益	230,680	89,659	44,922	78,428	149,884	593,573	48,481	－	642,054
セグメント間の売上収益	2,314	317	5,942	5,125	1,850	15,548	3,321	△18,869	－
合計	232,994	89,976	50,864	83,553	151,734	609,121	51,802	△18,869	642,054
セグメント損益（コア営業利益）	42,486	1,308	4,946	△8,151	△806	39,783	2,147	△7,332	34,598

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない製造・販売等の事業を含んでおります。

２　セグメント損益の調整額△7,332百万円には、セグメント間取引消去58百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△7,390百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通研究開発費等であります。

当中間連結会計期間（自　2026年１月１日　至　2026年６月30日）

（単位：百万円）

項目	報告セグメント						その他（注）１	調整額（注）２	合計
	半導体・電子材料	モビリティ	イノベーション材料	ケミカル	クラサスケミカル	計			
売上収益									
外部顧客への売上収益	298,962	84,621	49,999	91,789	130,057	655,428	21,424	－	676,852
セグメント間の売上収益	2,873	297	6,759	6,051	1,968	17,948	3,979	△21,927	－
合計	301,835	84,918	56,758	97,840	132,025	673,376	25,403	△21,927	676,852
セグメント損益（コア営業利益）	81,485	4,282	6,304	△612	3,838	95,297	3,267	△9,811	88,753

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない製造・販売等の事業を含んでおります。

２　セグメント損益の調整額△9,811百万円には、セグメント間取引消去145百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△9,956百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通研究開発費等であります。

セグメント損益から税引前中間利益への調整は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年６月30日）
セグメント損益（コア営業利益）	34,598	88,753
減損損失	△142	△820
その他の収益	10,049	4,395
その他の費用	△11,894	△19,018
営業利益	32,611	73,310
金融収益	2,500	2,430
金融費用	△10,282	△7,639
持分法による投資利益	5,586	4,653
税引前中間利益	30,415	72,754

（重要な後発事象）

（クラサスケミカル株式会社のパーシャル・スピンオフの実行に係る方針の決定）

当社は、2026年７月６日開催の経営会議において、石油化学事業を営む当社の完全子会社であるクラサスケミカル株式会社（以下、「クラサスケミカル」といいます。）のパーシャル・スピンオフ（以下、「本スピンオフ」といいます。）を実行することについて、2026年８月下旬の取締役会に付議する方針を決定しました。本スピンオフは、当社が保有するクラサスケミカルの普通株式（以下、「クラサスケミカル株式」といいます。）の80%超を当社の株主に現物配当により分配する方法で実行します。本スピンオフの実行方針に係る決定に伴い、2026年12月期第３四半期連結会計期間より、IFRS第５号「売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業」に従い、クラサスケミカルセグメントを非継続事業に分類します。その結果、連結損益計算書において、クラサスケミカルセグメントの収益、費用を、クラサスケミカルセグメントを除く継続事業と区分し、非継続事業からの当期損益として表示します。また、連結財政状態計算書においては、クラサスケミカルセグメントの資産及び負債を所有者分配目的で保有する処分グループに分類します。所有者分配目的保有に分類された処分グループについては、その帳簿価額と、当該処分グループの分配に直接起因する増分コスト（金融コスト及び法人所得税費用を除く）を控除した公正価値のいずれか低い金額で評価し、かかる増分コスト控除後の公正価値が帳簿価額を下回る場合には、当該差額を損失として非継続事業からの当期損益に計上します。

また、現物配当実行に係る取締役会決議に伴い、IFRS解釈指針委員会（IFRIC）解釈指針第17号「所有者に対する非現金資産の分配」に従い、現物配当されるクラサスケミカル株式の公正価値に相当する金額を資本から減額し、負債として計上します。

加えて、本スピンオフの実行時において、IFRS第10号「連結財務諸表」に従い、クラサスケミカルセグメントに対する支配の喪失に伴う会計処理（以下、「連結除外」といいます。）を行います。かかる連結除外には、処分グループに分類されたクラサスケミカルセグメントの資産及び負債の認識中止に加えて、主に（１）現物配当されるクラサスケミカル株式の公正価値に相当する金額を負債から取り崩すとともに、当該公正価値相当額と現物配当されるクラサスケミカル株式の持分比率相当の処分グループの帳簿価額との差額を非継続事業からの当期損益に計上する処理、及び（２）本スピンオフ後も当社が継続保有するクラサスケミカル株式を公正価値で再評価し、当該継続保有するクラサスケミカル株式の持分比率相当の処分グループの帳簿価額との差額を非継続事業からの当期損益に計上する処理が含まれます。

本スピンオフの実行後、当社が保有するクラサスケミカル株式の持分比率は20%未満となるため、クラサスケミカルは当社の連結子会社ではなくなり、持分法適用対象外となる予定です。

なお、当該事象が連結財務諸表に与える影響は精査中です。